

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

奥の細道
むすびの地
大垣



令和五年度五月 入賞句一覧

投句数

二千四句

特選

名和 よちゑ 選

こいのぼりやねのうえからのぞいてる

大垣市

清水 日陽（小六）

こいのぼりは江戸時代からのもので、出世魚と言われる鯉を端午の節句に外に泳がせません。いつもは下から見上げています。逆転の発想がおもしろいんですね。

トンネルをぬけたらわかばかがやいた

大垣市

はぎ野下 ぜん（小三）

「わかば」は、夏の初め、木々にもえ出た新葉のことをいいます。家族旅行で遠くへお出かけしたようですね。山合をドライブしているとトンネルに入ります。暗く長いトンネルを抜けると、ことさらにまぶしい若葉が目飛びこんできます。車の窓をあけて全身に充電した感じですね。

こどもの日父も母もひとりじめ

大垣市

伊藤 晟牙（小五）

五月五日。子どもの人格を尊重し、子どもの幸福を願い定められたのが子どもの日です。お父さんもお母さんも毎日仕事で忙しそうなんです。でも、この日ばかりは、少しわがままを言ったり、甘えたりしたいですね。ご両親は子どもの事をとても大切に思っているのですよ。元気よく大きくなってください。

秀逸

こいのぼりうろこの一枚すける空

大垣市

佐々木 海知（小六）

はるのそらこねこにみえるくもがうく

大垣市

広瀬 瑛怜奈（小五）

藤の花きこえてきそうすずの音

大垣市

不破 風佑（小六）

母の日はただただ笑っていてほしい

大垣市

伊藤 晟牙（小五）

たまごとじわたしがとつたつくしだよ

大垣市

須貝 梅子（小四）

ひな人形母から私へ受け継がれ

加茂郡川辺町

堀井 咲良（中三）

こいのぼりどんな風にも立ち向かう

大垣市

渡部 美響（小五）

こいのぼりかぜがふくまでひとやすみ

大垣市

佐藤 祐（小二）

しゃぼん玉そらをうつしてきえました

大垣市

本田 昴太郎（小六）

背のびして肩間から見る新クラス

加茂郡川辺町

前川 慧伍（中三）

入選

晴れの日に桜の雨がふりそそぐ	加茂郡川辺町	三浦 瑠莉(中二)
ぶかぶかの制服を着る入学式	加茂郡川辺町	野中 稔矢(中二)
ふじの花一面にさく笑い声	大垣市	林田 芽衣(小六)
試合後レモンスカッシュ一気飲み	大垣市	古川 颯人(小六)
桜さく校門の前で一つ札	大垣市	佐竹 詠宇(小六)
つるつるのかわいいおしりさくらんぼ	大垣市	杉山 楓(小六)
夏空を水てつぼうでねらいうち	大垣市	杉山 遼(小五)
森の中春の雨音包まれる	大垣市	渡部 美響(小五)
たんぽぽの笛をならしてさんぽ道	大垣市	富田 愛央(小四)
ふきのとうしらせにきたよはるのかお	大垣市	つじ はると(小三)
半そでに五月の風がふきぬける	大垣市	牛田 千絢(小五)
寝ころんで山より高きこいのぼり	大垣市	岡本 比呂子(小六)
六度目の桜の中のランドセル	大垣市	石谷 颯志(小六)
桜みに奥の細道いつてみる	大垣市	富岡 夏希(小六)
うえきばち春の風待つ花の種	大垣市	三宅 彩葉(小六)
こいのぼり雲をおいしく食べてそう	大垣市	不破 風佑(小六)
さくらちりあたらしいかぜふきだした	大垣市	松村 希海(小六)
こいのぼりぼうにまきつきほどけない	大垣市	木下 はると(小四)
はるかぜがやさしくたけをゆらしてる	大垣市	山本 佳歩(小五)
弟と空を見上げるこいのぼり	大垣市	安田 野々花(小五)

小中学生の部

選者吟

交差点駆ける立夏のスニーカー

よちゑ

